 **９月号**

**『啐啄』**瀬田中学校　校長　今井　弘樹

☆彡　　2学期が始まりほぼ1か月が経ちました。今年は、全市の熱中症対策として9月の学校行事を10月に遅らせた関係で、例年のような文化祭や体育大会に向けて “活気ある毎日が続く9月” といった雰囲気ではありませんが、文化祭準備も始まり各学年や学級では、合唱、学級旗、学年劇、学年展示など、じっくりと取組んでいます。授業では音楽室から、綺麗な合唱のハーモニーが聞こえてきます。放課後や昼休みには、クラスでパート別に流れる歌声、校舎から出て、全体練習している学級ごとの綺麗な歌声が、先生たちの心に響いてきます。猛暑の夏から静かな急に季節が進んだかのような風を感じ、行事の時期の変更に少し戸惑いを感じますが、いつもよりもじっくりと取組む生徒たちの活動を大切にしたいと思っています 。

　　☆彡　　　さて、2学期は放送での始業式で始まりました。私からはまず初めにこの夏の甲子園 第100回大会で大活躍した金足農業高校の先生の記事を紹介しました。**「～サボれば作物は育たない～・・・・**同校の宮腰明教諭（47）は、目を真っ赤にしながらこう話した。　『・・・・彼らはどの試合でも最後の一球まで諦めずに全力でプレーしてここまでたどりついた。やったことにしてサボろうとするのが人だけど、自然を相手にするとごまかしがきかない。肥料や水をやったことにしてサボったら作物は育たない。彼らは農業体験を通じて10代にして人間力を身につけたのでしょう。彼らには本当に教えられました』**・・・・」**。

☆彡　　　始業式後の学活の時間、生徒たちの顔を見ることができなかったので、全教室を廊下からですが、みんなの元気な表情を見て回りました。その後、休み時間に 「さっきの金足農業の作物の話、よかったよ」 とある生徒が言ってくれました。ごまかしがきかないこと。コツコツと積み重ねていくことが必要な場面は、ことがこれからの人生で生徒たちが思っている以上に多いこと。そして、集中力や持続力がないとそのすべての局面で苦労すること。どちらの力も訓練されて身についていくもの。漢字、英単語、計算などの基礎ドリルもそれができるようになるためだけのものではないこと。繰り返しをじっくり椅子に座ってやること。それが何より大事だということ。そんなことを考えていました。　**“ 実りの秋 ”**　と言います。それまでの日々の練習や作業の積み上げが **“実り”** に繋がることを、文化祭、体育大会、秋季大会、受験、いずれにおいても、一人でなく学級全員で実感してくれること願っています。